

2016年9月8日(木)にエフエムたいはく(78.9MHz/宮城県仙台市)で生放送された「じょぶネタ!ワン・タイム・トーク」の文字起こし原稿です。実際の記事・動画・音声については http://jobneta.sasamedia.net/2016-09-08_sato_misako/ をご覧ください。

(00.26)

佐藤好彦: 木曜日の午後7時30分になりました。じょぶネタ!ワン・タイム・トークです。皆さんこんばんは。本日のパーソナリティー、佐藤好彦です。そして本日はアシスタントはおりません。残念です。この番組は各パーソナリティーの友人知人お仕事先の方に番組一回分のワンタイムスポンサーになっていただいて、さりげなくお仕事の内容をPRしつつお仕事への想いや日頃のエピソードなどを話していただく30分のトーク番組です。番組の収益は障害や難病などハンディキャップをお持ちの方の就労支援に使われています。内容はブログポッドキャストユーチューブで順次配信していますので、もう一度お聞きになりたい方やエリア外の方は、番組名じょぶネタ!ワン・タイム・トークで検索してください。本日は仙台市太白区長町三丁目のエフエム太白のスタジオから生放送でお送りいたします。

(01.33)

佐藤好彦: 始まりましたじょぶネタ!です。本日のゲストは心理カウンセラー心の声を聴く案内人の佐藤美佐子さんです。よろしく願いいたします。

佐藤美佐子: はい、よろしく願いいたします。こんばんは。

佐藤好彦: こんばんは。今日は雨で大変だったんですけど。

佐藤美佐子: そうなんですねぇ。

佐藤好彦: 何で来られたんです?きょうは。

佐藤美佐子: きょうは私の事務所が北仙台にあるので、そこから地下鉄に乗りまして公共交通機関で参りました。

佐藤好彦: でも駅から結構濡れませんでした?足元。

佐藤美佐子: 濡れるの覚悟で来ました。

佐藤好彦：僕もべっちょべちょ。大変でしたよ。今もう靴下が濡れちゃってるくらい大変で。

佐藤美佐子：今日は嵐を呼ぶ男好彦さんと一緒ということで非常にこうなんか興味深ーく過ごしております。

佐藤好彦：いえいえ私晴れ男なんですけど。

佐藤美佐子：そうでしたね、

佐藤好彦：ね、おかしいな。

佐藤美佐子：そうでしたね。

(2.18)

佐藤好彦：はい、ていうことで早速なんですけどお話のほう伺っていきたくと思います。美佐子さん、先ほど打ち合わせで伺ってたら、カウンセラーにどうしてなったんですか？って言ったら、なりたくてなったんじゃないって。えっ！ていう。

佐藤美佐子：そうですね、カウンセラーっていう仕事なんですけれども、たとえば自分が昔お世話になったから、あるいは家族がお世話になったのでそういう関わりを見てセラピスト、カウンセラーになりたいって思ってカウンセラーを目指す方多いんですよ。ただ私の場合はそうではなく、この番組は難病支援ってことを今仰ったんですが、私も難病なんです。ね、実は。

佐藤好彦：えっちょっと見えないんですけども。

佐藤美佐子：その難病がもとで前の職場を辞めざるを得なくなったんですよ。そのときにベーチェット病なので、非常に体が動かなくなる。うん、動かなくなっていたんですね。その頃。調子が悪くて。高熱も出たり、関節炎があったり。そのときに何ができるのかなーって思ったときに、30代ですか。若い頃から勉強を続けていた心理学をもう一回やろうか、と思ったんです。そう思ったらちょっと奇跡的なことが結構起こってしまい、心理学の日本の第一人者の先生のもとで学べる機会っていうのがものすごくあったんですよ。

佐藤好彦：すごい、何年くらい前のお話？

佐藤美佐子：えっとね、四年くらい前。四年五年くらい前ですか。だからたとえば交流分析だったら杉田峰康先生っていう、交流分析協会の今は名誉理事さんとか。あとはアサーションだったら平木典子先生とかっていうのが続いて、気が付いたらもう戻れない。

佐藤好彦：戻れない。

佐藤美佐子：戻れないっていうことが起こっちゃったんですよ。私のスーパーバイザーの先生にそういう事情を訴えつつ、自分の心のメンテナンスもしなければいけないので自分もカウンセリングを随分受けてきて、結果この世界でもうやるしかないんじゃない？みたいな。そういうことですね。

佐藤好彦：やるっきゃない。

佐藤美佐子：やるっきゃないですね。本当にそういうことがあって、どっちかっていうと腹をくくりましたーっていう感じです。

佐藤好彦：ああ、腹くくっちゃった。

佐藤美佐子：腹くくってここで生きます私っていうモードになったの。その結果、北仙台にけやき館っていうカウンセリングルームなんですけど、何の後ろ盾もなく唐突に開いたんです。ぼかっていうか、やります、みたいな。

佐藤好彦：すごい、でもそこで決断したから多分道が開けたのかな？

佐藤美佐子：でしょうね。あれはあり得なかったかもしれない、冷静に。取り憑かれたんです、私。

佐藤好彦：良い取り憑かれ方したんじゃないですか？でも。

佐藤美佐子：かもしれないですね、どう見るかですね。

(05.39)

佐藤好彦：そして？

佐藤美佐子：そして、だから何の後ろ盾もないので自分で切り開いていくしかなかったんです。なので自分の持つてるスキルから、これもオリジナルで講座を作っていくんです

ね。

佐藤好彦：すごいですね、それは。

佐藤美佐子：持って来たんじゃないんです、全部。今やってるのがフォーカシングを中心にしたワークショップと交流分析の講座。それから自助グループもやっているんですが。うふふ、好彦さん聞いてくださいね？

佐藤好彦：はい、聞きますよー。

佐藤美佐子：何をやれって神様が言うんです。雷に打たれるんです、私。

佐藤好彦：そうきたか、でもなんとなくわかるっていうか。

佐藤美佐子：ですよ。

佐藤好彦：呼んでるっていうか、声が聴こえるってこのあたりとかって。

佐藤美佐子：ここ、見えない！

佐藤好彦：大丈夫、撮ってるから。

佐藤美佐子：そうねそうね、その通りです。

佐藤好彦：そう聴こえるっていうのかな？

佐藤美佐子：やれ！

佐藤好彦：うん、やれ！っていうのがあるんだよね。

佐藤美佐子：あるですよ。それが猛烈に起こったのが 2 年くらい。けやき館っていうのを開いて、部屋が結構 3 部屋まであるので、場所を取れるんですよ。

佐藤好彦：なるほど。

佐藤美佐子：これ何をしようって思ったときに、あ、これやれる、あ、これやれるってい

うので、そうですね今やっているワークショップは全部オリジナルです。持ってきたのは何もありません。

佐藤好彦：で、その交流分析とかね、それから、なんだっけ？忘れてしまった。

佐藤美佐子：フォーカシングね。

佐藤好彦：フォーカシング、そう。って言われても多分聞いている方はあんまりよく分かんないと思うので。

佐藤美佐子：そうですね。

佐藤好彦：一言で説明。

佐藤美佐子：交流分析は皆さんエゴグラムっていうのやったことないですか？っていうものです。

佐藤好彦：エゴグラム？

佐藤美佐子：入社試験のときに適性検査で、あなた親の要素強いね、とか子供の要素強いね、とか。大人の要素強いねっていう 5本のグラフで書いたものが一番有名ですね。性格診断。

佐藤好彦：性格診断みたいなもの。

佐藤美佐子：あれが有名なんですけど、もともと精神分析系の心理学なのでなんでも使えるんです。それをよく交流分析やってる人は団子3つっていうんですけれども。心の状態を3つの円で表してる。P、A、C。

佐藤好彦：それがどういう風に組み合わさって、重なる部分？

佐藤美佐子：どのエネルギーが強いかみたいなものを図表で表してすごく分かりやすい。

佐藤好彦：なるほどわかりやすくなるんですね。

佐藤美佐子：心理学入門に一番いいと思います。あとは自分がそれを踏まえて何の心理学

を勉強するの？っていう。

佐藤好彦：ああなるほど、そっちにも使えるんですね。

佐藤美佐子：そう、入門が一番いいです。フォーカシングはカールロジャース系のカウンセラーが使っているスキルって言われるもので、よく心の中にモヤモヤっていうのが出てくるんですが、言葉にならないモヤモヤ。それを表現していく過程をスキルにしたものです。ほーらモヤモヤしたでしょう。

佐藤好彦：そう、わざとモヤモヤ、うん。

佐藤美佐子：それをスキルによって今どんな感じですか？それは何色ですか？みたいな表現方法を使ってはっきりさせていくスキルです。

佐藤好彦：なるほどなるほど、質問攻めにするのね。

佐藤美佐子：いやいやいやいやしません、しません。

佐藤好彦：しません？質問されたら多分ますますモヤモヤになっちゃうのかな。

佐藤美佐子：フォーカシングの先生ってすごく静かなんですよ。独特の間があって、例えばそのモヤモヤってどんな質感ですか？って質問すると、その質感を固まるまで待ってる。すごく静かな先生ですね。

佐藤好彦：それが心の中を聴くにつなっていくのかな？

佐藤美佐子：ピンポンで一す。

佐藤好彦：よかったあ

佐藤美佐子：それが心の中を聴くって一す。

(09.56)

佐藤好彦：なるほど、だから心の中を聴く案内人なんですね。それとカウンセリングっていうのがどういう風に結びつくのかな？

佐藤美佐子：カールロジャースのカウンセリングの研究によってできたスキルなんですよ。

佐藤好彦：あっそうなんですか。

佐藤美佐子：だからロジャースがカウンセリングやってるビデオってたまに見かけるんですが、すごく間があるんですね。呼びかけに。それはこういうことなんですか？かっこ、てんてんてん。そこのところでクライアントさんの心の中に起こっていることっていうのが自分の感覚を確かめている状態なんです。それをスキル化したものなんですね。だからロジャリアンって言われるロジャース派のカウンセリングの方は自然にこれをやっている。

佐藤好彦：すごいですね。

佐藤美佐子：っていうものです。それをその部分だけ取り出したのがフォーカシングっていうものですね。

(10.58)

佐藤好彦：なるほど。じゃあ後半さらに今度は何を聞こうかな？カウンセリングについてもう少しお話しっていいかなと思うんですけども。

佐藤美佐子：怖いですね。

佐藤好彦：えー！ここで美佐子さんからのリクエスト曲をおかけします。今日のリクエストはですね、ムーンライトセネラ、セレナーデ。やっば。やっちやった。小野リサさんでお送りいたします。この曲に美佐子さん思い出とか思い入れってございます？

佐藤美佐子：えっとですね、グレミラーのオーケストラ曲。

佐藤好彦：あ、オーケストラ曲だったんだ。

佐藤美佐子：ホーンが入った曲だったんですが、この小野リサさんが歌う声がすごいハスキーボイスで歌ってるんですね。なのですごく和むんです。なのでセッションの合間でクールダウンするときとか気分チェンジするときによく聴いたりしますね。

佐藤好彦：そうですか。はい、それではムーンライトセレナーデ。小野リサさんで。

(11.59)

(12.07)

佐藤好彦：はい、お送りした曲はムーンライトセレナーデ、小野リサさんの曲でした。さてあの後半入ってくるんですけども、カウンセリングっていうと僕なんか産業カウンセラーとか、こういうのイメージするのね。僕の前いた職場でもやっぱカウンセラーさんがいて、何でもいいから相談に来てねっていうのがあるんだけど。どうしてもこうカウンセリングっていうと行きづらいなとかって、こう思っちゃう方いらっしゃると思うんですけど。

佐藤美佐子：そうですね。日本人は特にそうなんだってカウンセリング業界では言われているんですが。アメリカでは自分に専門のセラピストがいるっていうのはステイタスになっています、実は。

佐藤好彦：あ、そうなんですか。

佐藤美佐子：そうなんです。自分の心のメンテナンスをしてくれる専門家がいるっていうことすごいステイタスになっているのですが、日本人はカウンセリングっていうと壊れた人っていうイメージ強いですよ。

佐藤好彦：強いよね。

佐藤美佐子：ちょっと残念です。

佐藤好彦：残念、うーん。

佐藤美佐子：産業カウンセラーさんは企業の中において、たとえば職場復帰のプログラムを作ったりとか、医療機関とか専門の機関に連携していくっていうものに特化して勉強されている方で、なおかつ傾聴をものすごく勉強されてるんですよ。だから聴くってことは素晴らしく対応できるカウンセラーさんで、職場のお世話をする保健室っていうイメージなんでしょうかね。

佐藤好彦：僕はそんなイメージで捉えてたんですけども。

(13.44)

佐藤美佐子：うん、その通りだと思うんですが、私たちの様な町場にいるカウンセラーっていうのは実はどこまでお役に立てるかっていうのが難しいんですけども、病んだから来るっていう場面もそれは有りです。ただそれだけではなく誰にも言えないことを話せる

場所ってというのがひとつ。それからいわゆる今未病という言葉が流行っているんですけども未病の状態から落ちないときご利用いただきたいと思います。

佐藤好彦：なるほどね。

佐藤美佐子：専門家に行ってしまったらおしまいだっという風潮もあるんですが、それは違います。私達町場のカウンセラー、開業カウンセラー、あるいはどこかにいる民間のカウンセラーは、心の専門家としてそれなりに学んできている者たちがおりますので、自分らしく生きたいとか、誰にも話せないとか、あとはこっそり来ていただいていた方がいいんです。職場にばれるとちょっとっていう方もいらっしゃると思うんですが、守秘義務はものすごく持っておりますので。

佐藤好彦：そうですね、コーチカウンセラーは守秘義務はきちんと持ってますよね。

佐藤美佐子：そうですね。警察が踏み込んでも出さない

佐藤好彦：出さない。

佐藤美佐子：出さないっていうレベルなので、それはご安心いただきたいんです。なのでもし本当に一人で、悩みに大きい小さいは本当にありませんので。こんなくだらないことでよく男性の方仰るんですけどそんなことは無いんです。だから安全な場所で専門家に話すということは決して恥ずかしい事ではないし、未病ですよ。未病の状態から落ちないっていうのが、ね。

佐藤好彦：そうそれが一番だよ。僕もコーチングの後に NLP を学んだときに、佐藤さん一体なにそんなに突っ張ってるの？突っ張ってるのっていうか話さないことがあったときに、あなたここの場が一番安全安心なんだよって、そうなんです。大体笑えるでしょ？

佐藤美佐子：笑いますね。

佐藤好彦：NLP を学んでいた本人が、うん。

佐藤美佐子：なぜ話せない？

佐藤好彦：なぜ話せない。まあ人に話せないことも僕あるんだけど。

佐藤美佐子：そうなんですわね。

佐藤好彦：それは置いといてやはり誰かに聞いて欲しいって思ったときには専門家の所に行って、そう。

佐藤美佐子：恥ずかしい事じゃない。その瞬間話せなくてその先どうするの？っていう心配はありますよね。

佐藤好彦：そう僕あのときは全部吐き出しちゃったから。

佐藤美佐子：あつすばらしい！

佐藤好彦：涙ボロボロでね。

佐藤美佐子：うん、涙出すことで浄化されるっていうのはありますよね。

佐藤好彦：話すっていうのはある意味浄化に繋がるので。

佐藤美佐子：浄化ですよ、本当に。それを出さないで内に向き続けることがメンタル不調に本当につながっていくと思うんですよ。なのでまず信じていただきたいということ、高い倫理観を持ってます私達。なので迷ったら来てねっていう。

佐藤好彦：迷ったら、そう。どうしようかなと思ったら来てねっていうのが一番いいかもしれない。

佐藤美佐子：そう迷ったら来てねっていう感じですね。

佐藤好彦：悩んだら来てねって僕なんか言っちゃうけども。悩んで、そうなんっていうのかな。どうしようかっていったときに抱え込まないで。抱え込むのも限度があるから。

(17.34)

佐藤美佐子：そう、援助希求って言葉があるんですよ。

佐藤好彦：はい、聞きたい。

佐藤美佐子：援助求球っていうのは援助して OK だ、よりも大きいんですね。援助を求め

ることが義務であるって考えていただいても結構だと思います。

佐藤好彦：あ、それいいね。

佐藤美佐子：そうそうそう。援助を求めるのが恥ずかしいっていうのが日本の文化ではあると思う。これね、文化なんですよね。男は黙っての。

佐藤好彦：そうそうそう

佐藤美佐子：古いですね

佐藤好彦：でも本当そうなんだもん。

佐藤美佐子：援助を求める能力なんですよ。

佐藤好彦：それ大切だと思う。

佐藤美佐子：大切だと思います。援助を求めなくて、そしてメンタル不調を起こしてしまって、あなたが休んだらどれぐらい社会に損失を出すのですかっていうことも含めて考えた方がいいような気がするんです。

佐藤好彦：僕ね、職場にいたときに、ちょっと風邪気味で体調不良なんだよっていう部下がいるの。いたときにお前もう帰って休め、寝ろって言ったの。

佐藤美佐子：すばらしい。

佐藤好彦：で、その代わり明日明後日になって体調悪くなって今日休ませてください、俺は許さんって言ったの。そのときは這ってでも出て来いって。

佐藤美佐子：いいのかな？

佐藤好彦：冗談ですけど、それくらい後で迷惑かけるのであれば、今ね、家族にも迷惑かけるし職場にも迷惑かけるから、今軽いうちに手当しなさいっていうことを言外に含んで僕はそういうことよく言ってたんですね。

佐藤美佐子：素晴らしい上司ですね、それ本当に。援助を求める能力なんです、もう。恥

ずかしい事じゃないんですよ。それがやれないがために白書でもね、厚生労働省の白書でもとんでもない数字出てますよね。自殺者とか。

佐藤好彦：うん、それ言われると僕も自分の前の職場の事を思い出しちゃうからね。

佐藤美佐子：なので援助を求めるのは恥ずかしいことではなく、能力です、義務です、と
思っていたきたい。そこに町場のカウンセラーがお役に立ってますよってということでもある
んですね。

佐藤好彦：それって大概の人知らないですよ。

(19.47)

佐藤美佐子：あとはうちのように、心をちょっと穏やかにするワークショップってそれぞ
れカウンセラーやってますので、是非それをご利用いただきたいんです。カウンセリング
までちょっと抵抗あるけれども何か心のワークショップ、心を穏やかにしたいっていうも
のがあれば、そこにちょっとお試しで参加していただくっていう方法もあると思うんです。

佐藤好彦：そうそう美佐子さん色んなことなさってるんですけども、美佐子さんにもし
ご相談とかね、したいって場合にはここでいいのかな？ カウンセリングルームけやき館。

佐藤美佐子：はい、そうです。

佐藤好彦：電話言っちゃっていい？

佐藤美佐子：いいですよ、ありがとうございます。

佐藤好彦：0223416926、0223426926 電話 FAX？

佐藤美佐子：OK です。

佐藤好彦：OK なので。FAX でも受け付けてらっしゃいます。そう、ぜひ皆さん。他にな
んか色々あるんだけどいくつかご紹介。

(20.55)

佐藤美佐子：さっきのフォーカシングっていうもののワークショップを実はタロットカー
ドを使って。

佐藤好彦：そうなんだよね、どういう風に使うんだらうって思って

佐藤美佐子：ひ、み、つ。

佐藤好彦：えーちょこっとだけ。

佐藤美佐子：ちょこっとだけね。タロットカードも普通のタロットカードじゃなくてコラージュのタロットカードなんですけど、投影法ってありますよね。そのものに自分を似せて実は喋っているっていう方法をとって自分の中に溜まっているものをお話ししていただくとか。あとはそうですね、体を使ったワークショップ。自分の感じていることを体で表現してみたりとか。あるいは第三者の目で見ると自分を他人の目で見てみるとどうなるのっていう。

佐藤好彦：そうそうこれはおもしろいんだよね。

佐藤美佐子：おもしろいですよね。

佐藤好彦：第三者で見るっていうのはね。

佐藤美佐子：ハッとしますよね。そういうこともやってたりしますんで。あっもうひとついいですか？

佐藤好彦：うんどうぞ。

佐藤美佐子：北仙台、けやき館って検索していただくとほぼ出ます。

佐藤好彦：そう、けやき館、北仙台って入れるんですね。けやき館ってパソコンで入力していただくと、けやき館のホームページへ出るのかな。

佐藤美佐子：そうです。

佐藤好彦：佐藤美佐子さんのホームページ、北仙台、けやき館で検索してください。

佐藤美佐子：ありがとうございます。

(22.25)

佐藤好彦：いえいえ。さてまた少しカウンセリングについて。

佐藤美佐子：あーカウンセリングですね。

佐藤好彦：お話聞きたい。

佐藤美佐子：まずカウンセリングって怖いもんじゃない。

佐藤好彦：そうそう。

佐藤美佐子：捕って食ったりしない。

佐藤好彦：どうしてもカウンセリング行くと何されるんだらうって、どんな質問されるんだらうとかって思う方いらっしゃるんじゃないかな。

佐藤美佐子：そうですね、カウンセラーそれぞれに得意技法はあるので一概には言えませんが、お話を聞く傾聴っていうのが基本中の基本になっているので、なんでもお話していただいて結構です。あるいはお名前をちょっと言えませんが、とにかく聴いてくれ、何でもいいから聴いてくれっていうものでも OK です。

佐藤好彦：そうそれはコーチングも同じなんですけど、本当になんでもいいから聴いてくれっていうときってあるもん。

佐藤美佐子：男性特にそうなんですよね。

佐藤好彦：そうそうそう。ここまで溜まって、もう酒飲んでも晴らせないからって、これどうすんだっていったときに、僕は壁に向かってぶつくさ言うんだけど。

佐藤美佐子：危ない危ない危ない危ない。

佐藤好彦：ってならないように、ね。

佐藤美佐子：そうなんです。とにかくカウンセラーっていうのは聴く訓練っていうのはものすごい時間受けてるはずですので聴けます。なのでとにかく、聴きます。

佐藤好彦：30分でも1時間でも？

佐藤美佐子：聴きます。だからなるほどそうなんですね、そしてどうしたんですか？しか返さないんですが、実は。でも男性の方でもそれだけでも十分みたいです。

佐藤好彦：そうそう、聴いてほしい。僕の知り合いのコーチもクライアントさんにね、きょうはどうしたい？って言うのとにかく俺の話を聴いてくれってあるらしいの。

佐藤美佐子：あるんです、あるんです。それをちゃんと訓練受けてきてますのでどうぞ仰ってください、ただし。

佐藤好彦：はい。

佐藤好彦：殴らないでねっていう。

佐藤好彦：殴らないでって、美佐子さんこわーいって、逆に殴られそうとかって。

佐藤美佐子：無いですって。

佐藤好彦：無いですよ。

佐藤美佐子：やめて、誤解を招きますってそれは。

佐藤好彦：そうか、殴らないでねっていうか、激高するクライアントさんもいらっしやるってことなのかな？

佐藤美佐子：ただ私経験ありますし、対応できますので、ちゃんともまる一く大丈夫です。よっぽどの場合もあります・・・北警察署隣ですから。どういうオチなんですか。

佐藤好彦：どういうオチなんですか？

佐藤美佐子：どういうオチなんですかね。

佐藤好彦：でも病んでるっていうとまた語弊があるけれども、悩んでそれを吐き出すときにどうしても変なとこにいて、それが暴力とかにも繋がるってことなのかな。

佐藤美佐子：出す方法あるんです、ちゃんと。出す技法ちゃんと学んでますので正しく出せる方法でお話したいと思います。

佐藤好彦：そうすると、悩みごとすっきりするし。

佐藤美佐子：そうですね。

佐藤好彦：家族も幸せになれるし。

佐藤美佐子：そうなんですよ。

佐藤好彦：それがカウンセリングの効果なんだってこと。

佐藤美佐子：自分らしく生きるっていうことが大事だなんて思ってるんです。

佐藤好彦：僕もそう。

佐藤美佐子：人間性心理学がベースなので私。自己実現ですよ。

佐藤好彦：僕も、そう。人生後悔しないで楽しく生きてねっていつも思うんですけどね。

佐藤美佐子：好彦さんそうですね、後悔しないでっていう。

(25.50)

佐藤好彦：はい、今日は心理カウンセラー心的心声を聴く案内人の佐藤美佐子さんからお話を色々伺ってきたんですけど、美佐子さんきょうはいかがでしたでしょうか。

佐藤美佐子：いやーなんか話しましたね、随分。

佐藤好彦：うん、いっぱい聞いた。でもまだ聞き足りないんですけども、カウンセリングの神髄っていうのかな。

佐藤美佐子：また来ます？

佐藤好彦：うん、是非来てください。10月以降もこの番組続きますのでよろしくお願ひします。

佐藤美佐子：よろしく願いいたします。

佐藤好彦：来週 9 月 15 日は NBI コンサルティングの本田秀行さんにお話を伺う予定でございます。

今日は佐藤好彦が心理カウンセラー心的心声を聴く案内人佐藤美佐子さんにカウンセリングについて色々お話を伺って参りました。次週もお楽しみに。佐藤美佐子さん今日は本当ありがとうございました。

佐藤美佐子：とんでもないです。お呼びいただいてありがとうございました。

佐藤好彦：いや楽しかったです。

佐藤美佐子：楽しかったですね。

佐藤好彦：また是非おいでください。

佐藤美佐子：はい、ありがとうございます。

(了)